

重要文化財

喜多家住宅

【所在】本町3丁目

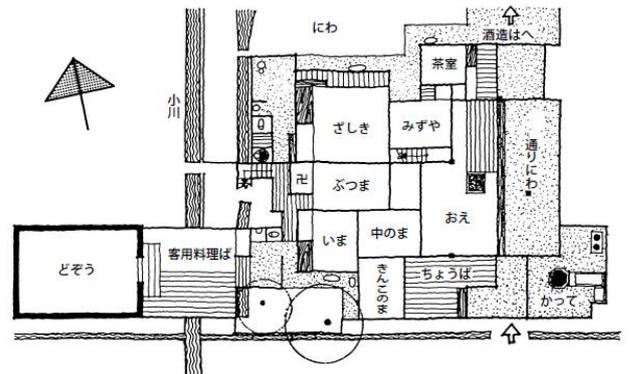
【年代】1804～30年頃(文化・文政期)

町家(低町屋型)

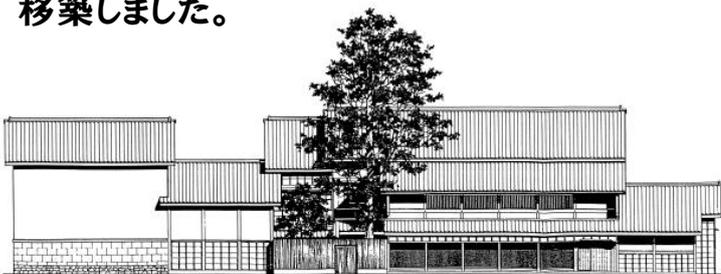


喜多家はもともと越前^{えちぜん}の武士でしたが、江戸中期に野々市に移り、灯油の製造販売業をはじめ、代々油屋治兵衛^{あぶらやしへえ}を名乗りました。幕末から昭和期までは酒造業を営んでいました。

明治二十四年(1891)に野々市は大火にあい、喜多家も焼失しました。その復興にあたり、金沢市材木町にあった醤油屋^{たいやそうべえ}田井屋惣兵衛の家を買い求め、同年に移築しました。



喜多家は加賀地域において最も古い町家形式を示す建物です。



表構えは、二階の背が低く、太い古格子^{ふるこうし}が入り、袖壁^{そでかべ}が付きます。一階は極めて細かい加賀格子^{ひさしざき}が入り、庇先にはサガリが付きます。これは古い加賀町家の典型です。

中に入ると、オエにイロリが切られています。奥にはザシキと茶室があり、外の美しい庭園を眺めることができます。



イロリの中には、波をイメージした美しい灰形が描かれています。